

# 安全作業手順書【薬剤小袋配置・回収作業】

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B) 可能性(A)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (留意する)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC~春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC~飛鳥北IC,有松IC~上社JCT)
機器工具 ・車両	台車 ホウキ スコップ	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ 保護メガネ、切創作業用手袋、軍手

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り												
			(～なので～になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はこうする)			(A)	(B)	リスク										
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する(路肩移動規制) 料金所内の立ち入り禁止部分の確認 しらすんだーの動作確認を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を確認して 踏板・ETCレーン等立入禁止部分の確認 規制班と一緒に	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう /	△ ○ /	× × /	4 3 /	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する /	○ ○ /	○ △ /	1 2 /													
	車両確認	<div style="text-align: center;">  <p>セーフティーバイブル</p> </div>										25.車両回送手順書に則る												
	作業車両準備																							
	作業車両点検																							
	出発準備																							
出発																								
本作業	車両移動 停止	<div style="text-align: center;">  <p>セーフティーバイブル</p> </div>										25.車両回送手順書に則る												
	逃走防止																							
	準備作業														車両から降りる	周囲の状況に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/
	(i)配置作業														車両から薬剤小袋を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2
															配置箇所に小袋を運ぶ(台車等を使用して) 小袋を落下させないように保持し配置する	薬剤の配布数量を確認して 複数人で	台車が転がり一般車と接触する 配布中、小袋が破れが落下する	△	△	3	ストッパー式台車等の使用(傾斜路の確認)	○	○	1
															設置写真を撮影する	①設置の前後が分かるように ②安全な場所から	/	/	/	/	小袋の状態を確認し必ず複数人で行う	○	△	2
	(ii)回収作業														薬剤小袋を回収する 台車等を使用して回収する	手袋などを着用して 薬剤の配布数量を確認して	料金所回りでの一般車との接触 過積載による車両事故	○	×	3	料金所安全通路の事前確認(通行ルールファイルの確認)	○	△	2
															設置写真を撮影する	①設置の前後が分かるように ②安全な場所から	/	/	/	/	小袋の重量確認(25kg/袋・10kg/袋)	○	△	2
															仕上げ	離脱前に場内の清掃を行う	隅々までよく確認して	/	/	/	/	/	/	/
	現場離脱 及び														25.車両回送手順書に則る									
帰着																								
駐車																								
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/														
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。																						
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逃走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逃走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から 遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1													